

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81100 消防本部運営費	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約 6 ・市民の生活と生命・財産を守ります。 ・防災ヘリコプターの飛驒地域常駐を実現させます。
種別		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	常備消防運営事業	
担当課	消防本部 消防総務課	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	74,000 千円	
	内線 2119	目	1 常備消防費	施策	1 消防体制の充実			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・市民生活の安全を確保するため、消防体制の充実や関係機関との連携を強化する。 ・119番通報に対する迅速・的確な対応を行い、市民の生活と生命・財産を守る。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防本部の運営、関係機関との連携・調整、大野郡白川村の消防事務の受託 ・通信指令システムの維持管理 ・県の防災ヘリコプターの飛驒地域常駐のための関係機関との打ち合わせ、県への要望
	対象者数	93,807 人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信指令装置の維持管理</li> <li>防災ヘリの県への継続要望</li> </ul>						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	119番通報受信件数	件	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標	算出根拠等	実績	実績(見込)	7,231	7,584	7,246	
	達成率(%)			121	126	121	
活動指標	災害出場件数	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500
	算出根拠等	実績	実績(見込)	3,815	4,155	4,378	
成果面	達成率(%)			109	119	125	
	算出根拠等		目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
成果面	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)						
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・防災ヘリについては、必要性等継続的な県への働きかけが課題。施設の維持管理については、あらゆる面での節約が必要。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・防災ヘリについては、引き続き県への要望を続ける。維持管理費については節約に努める。
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 維持・改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> <li>○ 維持・改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> </ul>
通信指令回線・病院間等の連絡体制は必要であり、災害時の消防無線を含め、通信機器の保守を継続する。	
防災ヘリの飛驒地域常駐及び夜間運行の実現に向けた県への要望を継続的に行う必要がある。	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 45,388	44,953	45,346	64,237
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 477	475	483	685
受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B) 95,102	94,616	93,807	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部運営に関する企画・統制に係る事務</li> <li>人事、予算、庶務等消防組織に関する事務</li> <li>全国消防長会等、消防本部に関する各種会議の対応</li> <li>通信指令システムを維持するための改修及び保守、各機器突発的故障発生時修繕、緊急連絡等回線使用料</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信指令機器/バッテリーや、ハードディスクの突発修繕対応</li> <li>通信指令機器、消防無線の保守の維持</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信指令システムは、導入から約8年経過しており、365日24時間稼働していることなどから、部品の突発的故障が増加している。</li> <li>デジタル無線整備する際、防災行政無線設備を設置している施設を賃貸借して無線設備を追加設置する必要がある。</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	45,346	64,237	18,891	54,054	54,054	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	224		△ 224	316	316		
その他	8,450	10,789	2,339	10,029	10,029		
一般財源	36,672	53,448	16,776	43,709	43,709		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81110	消防署運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。 防災ヘリコプターの飛駐地域常駐を実現させます。
	課			8	消防費	分野		9	安全	実施計画事業		常備消防運営事業			
担当課	消防本部 消防総務課		内線	2119	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	74,000	千円		
				目	1	常備消防費		施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	・地域の防災拠点である消防施設の災害時に即応できる体制を常に整え車両や機械器具等の適正な維持管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防庁舎(本署1.分署3、出張所4)や機械器具の維持管理(うち、白川出張所は白川村から消防事務を受託している。)
	対象者数	93,807					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・消防庁舎(本署、分署3、出張所4)や機械器具の維持管理							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	設備点検回数	回	目標値	31	32	31	32
				実績(見込)	31	32	31	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・施設の老朽化に伴う維持修繕等維持管理費の増大等経費はかさむが、どれだけでも経費の削減に取り組む。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・消防施設の維持管理について適正に行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・高山署・3分署・4出張所の維持管理費用を節約するとともに、維持改善に努める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・出張所の統合なども含めた消防体制について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 25,869	26,347	28,193	31,498
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 272	278	301	336
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B) 95,102	94,616	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・消防署(分署・出張所含む)の運営 ・署所の維持管理費 ・署所の庁用関係事務	要求のポイント	維持管理費(庁用燃料、電気使用料)の増	事業実施の課題	・施設の老朽化に伴う維持管理費の増大
------	--	---------	---------------------	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		28,193	31,498	3,305	29,813	29,813	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	2,304	2,577	273	2,354	2,354		
	一般財源	25,889	28,921	3,032	27,459	27,459		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81115	予防事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			8	消防費	9		安全	実施計画事業		火災予防事業			
担当課	予防課	内線	2118	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	1,100	千円		
				目	1	常備消防費	施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	市民生活の安全を守るため、火災予防対策の実施や啓発活動の実施などにより、防火意識の高揚や防火知識の普及を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	防火管理体制の充実のための立入検査、防火管理講習の実施(年3回) ・危険物施設の自主保安体制の充実のための立入検査、危険物安全協会への協力 ・全国一斉火災予防運動の展開(年3回) ・火災原因損害調査/危険物事故調査 ・住宅用火災警報器の設置促進と維持管理の啓発 ・火災類取締法規制、保安管理体制充実のための立入検査、合同パトロール
対象者数	93,807	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>立入検査年度計画の策定と立入検査に伴う違反是正</li> <li>防火管理講習の企画・運営と受講促進</li> <li>春季・秋季火災予防運動及び文化財防火デーに伴う実施計画の策定</li> <li>住宅用火災警報器設置対策実施計画に基づく広報、消防団員の戸別訪問や消防職員の電話連絡等の実施</li> <li>危険物安全協会や飛騨火災事故防止協議会の事業への参加</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	住宅用火災警報器設置促進(緊急雇用創出事業以外による戸別訪問)	件	目標値	5,000	3,000	500	200
	算出根拠等		実績(見込)	6,669	3,505	600	
活動指標	防火管理講習の実施	回	目標値	3	3	3	3
	算出根拠等		実績(見込)	3	3	3	
活動指標	防火対象物・危険物施設の立入検査	件	目標値	1,062	857	798	800
	算出根拠等		実績(見込)	880	751	798	
成果指標	住宅用火災警報器設置普及率	%	目標値	100	90	95	100
	算出根拠等		実績(見込)	87	94	96	
成果指標	防火管理講習修了証の交付人数	人	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等		実績(見込)	123	105	110	
成果指標	火薬類(煙火)の消費許可	件	目標値	25	25	25	25
	算出根拠等		実績(見込)	27	29	30	
補足	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用火災警報器設置促進の緊急雇用創出事業による戸別訪問は、平成22年度(37,755件)、平成23年度(9,857件)のみ実施、平成24年度は消防団による戸別訪問以外に消防職員による電話連絡や共同住宅の所有者や管理会社への訪問を実施する。</li> <li>火災予防業務は全般的に法規制の許認可等により、市民が安全・安心して生活できるよう展開している。</li> </ul>						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災調査員の知識・技術の向上について、職員の階級や経験値に応じた階層的な研修を企画するなど、調査員研修の充実を図る必要がある。</li> <li>消防力の整備指針第34条第3項の規定に基づく予防技術資格者の養成と適正配置について、既存の養成計画の見直しと養成の強化、署所配置の充実を図る必要がある。</li> <li>権限移譲事務について、新たに専門的な知識・技術の習得や研修が必要であり、全体的な事務量の増加を踏まえた物理的、具体的な検討が必要である。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年3月に一部改正した高山市消防本部火災原因損害調査規程において、調査員の調査範囲を見直し調査指揮者や調査研修を規定したことから、その遵守を徹底し、階層別研修を企画、実施する。</li> <li>高山市消防本部予防技術資格者に関する内規を改正し、予防技術資格者の配置を見直し、これに基づき養成や検定に係る研修等を計画する。</li> <li>住宅用火災警報器設置について、消防本部・署所毎に実態に応じた設置促進と維持管理啓発のタイムテーブルを策定、実施する。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災調査員の階層別研修を継続し、知識及び技術の向上を図る。</li> <li>予防技術資格者の養成計画を実施、署所に配置した当該資格者の有効活用を図る。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	937	856	1,040	1,132
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10	9	11	12
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B)	95,102	94,616	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火管理体制の充実</li> <li>危険物施設保安管理体制の充実</li> <li>火災予防運動の展開</li> <li>火災原因損害調査</li> <li>住宅用火災警報器設置対策</li> <li>火薬類取締法、保安管理体制の充実</li> <li>予防技術資格者の養成</li> <li>権限移譲事務の研究</li> <li>高山市防火協会補助</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災予防等の印刷物及び物品の購入</li> <li>火災原因損害調査に要する物品の購入</li> <li>安全管理に要する物品の購入</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山市火災予防警察規定等を見直しとこれに基づく立入検査の実施と違反是正</li> <li>予防業務に関する研修計画(火災調査員の階層別研修含む)の実施</li> <li>住宅用火災警報器の設置促進困難者への継続対応と維持管理の啓発強化</li> <li>予防技術資格者の養成計画の見直しとその実施</li> <li>予防技術(火災調査を含む)の伝承と向上</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,040	1,132	92	1,040	1,040	・積算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	875	875	0	783	783		
その他	165	257	92	257	257		
一般財源			0				

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81120	警防事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。	
	種別			款	8	消防費		分野	9		安全				実施計画事業
担当課	警防課		内線	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	74,000	千円			
				目	1	常備消防費	施策	1	消防体制の充実						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防車両、消防資器材、救助資器材及び水防資器材が常に最適な状態を保つ。</li> <li>緊急援助隊訓練、消防救助技術東海地区指導会及び警防技術発表会等の訓練に参加することにより、技術が向上する。</li> <li>上記により火災、救助事業等で被災した場合、最小の被害で抑える。</li> </ul>	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防自動車等の安全運行に係る法定検査の実施とそれに伴う修繕。(梯子車オーバーホール実施)</li> <li>消防本部内訓練実施、県単位訓練等各種訓練、研修会への参加。</li> <li>高圧ガス保安法に基づき空気ボンベ容器の耐圧検査実施による使用期限の延長。</li> <li>都市型ロープレスキュー資器材の整備による救助現場対応力の強化と署所間の連携活動の強化。</li> <li>適正な資器材管理整備による隊員の公務災害防止、安全管理の徹底。</li> </ul>
	対象者数	93,807	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気ボンベ容器12本の耐圧再検査を実施。</li> <li>消防車両等15台の車検を実施。</li> <li>岐阜県緊急消防援助隊訓練、消防救助技術東海地区指導会、岐阜県警防技術発表会への参加。</li> <li>都市型ロープレスキュー資器材を丹生川出張所に配備。</li> </ul>						
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	空気ボンベ容器の耐圧再検査	本	目標値	74	12	14	45
	算出根拠等		実績(見込)	74	12	14	
活動指標	消防車両等車検整備	台	目標値	21	17	22	17
	算出根拠等		実績(見込)	21	15	22	
活動指標	都市型ロープレスキュー資器材の整備	セット	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績(見込)	1	1	1	
活動指標	火災件数	件	目標値	34	36	32	34
	算出根拠等		実績(見込)	25	28	42	
活動指標	救助出動件数	件	目標値	62	64	63	63
	算出根拠等		実績(見込)	57	45	74	
補足			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)	91	70	117	
			達成率(%)				
			達成率(%)				
			達成率(%)				
	車両及び各種資器材は、経年劣化に伴う修繕が目立つ。						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車修繕料及び器具修繕料をさらに削減するために、車両、各種資器材の経年劣化等も考慮した維持管理を図る必要がある。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両、各種資器材の経年劣化等も考慮した維持管理を図るため、職員による点検回数、点検内容を充実させ不具合部分の早期発見、早期修繕を行うことで修繕料の減額に努めている。</li> <li>今年度、都市型ロープレスキュー資器材は清見出張所に配備予定である。配備箇所においては年間計画を立てて訓練を実施している。また、配備箇所間で連携訓練も実施されており、現場対応能力の向上を図っている。</li> </ul>		
次年度の実施方針	○ 維持・改善	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>火災系訓練、救助系訓練の継続及び反復訓練を実施し、隊員の技術向上を図る。</li> <li>消防資器材整備事業により計画的な資器材整備を進めていくとともに、資器材に対しての愛護精神を培い、コスト削減を意識した車両の使用、物品の管理を実施していく。</li> </ul>
	○ 維持・改善	縮小	
	○ 維持・改善	廃止検討	
	○ 維持・改善	廃止検討	
			(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,865	14,902	14,620	19,111
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	156	157	156	204
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B)	95,102	94,616	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対応力向上のための各種訓練、研修等</li> <li>消防車両及び消防資器材の適正な維持管理</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>救助用資器材の整備</li> <li>消防ポンプ車、救急車及びその他の車両の車検整備等の他、突発的修繕の増加</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多様化する災害に対応するための資器材等の更なる充実強化</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	14,620	19,111	4,491	16,110	16,110	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	740	1,629	889	830	830		
一般財源	13,880	17,482	3,602	15,280	15,280		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81125	救急事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	2	「やさしさ」のあるまちづくりをめざして	根拠計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			8	消防費	分野		5	健康・保健・医療				
担当課	救急課		内線	項	1	消防費	基本施策	2	いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する	実施計画事業	常備救急運営事業・救急救命士育成事業、救命技術普及啓発事業		
	2117			目	1	常備消防費		施策	2		救急医療体制の整備	H26実施計画額	9,100 千円

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民及び白川村民	どうしたいのか(意図)	救急業務を円滑に遂行すると共に、救急救命士を全ての救急隊に配置し、救急体制の充実強化を図る。救命講習を通じて応急手当の重要性を理解してもらい応急手当の実施率の向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	救急救命士の有資格者の養成及び、救急救命士の病院実習を実施する。市民に対して広く救命講習会の受講の場を提供する。
	対象者数	93,807 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の再教育(病院実習)、薬剤認定救命士2名追加。</li> <li>公募による普通救命講習会の開催、事業所等各種団体からの要請による救命講習の実施。</li> </ul>						
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	救急救命士数	人	目標値	27	27	27	27
		実績(見込)	23	24	28			
	算出根拠等	突働救急救命士の人数		達成率(%)	85	89	104	
	活動指標	救命講習会等の開催	回	目標値	300	300	300	300
		実績(見込)	311	312	317			
	算出根拠等	救命講習会の開催回数		達成率(%)	104	104	106	
	成果指標	救急現場到着所要時間	分	目標値	8.1	8.2	8.3	8.3
		実績(見込)	8.5	8.5	8.3			
	算出根拠等	消防統計		達成率(%)	95	96	100	
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
				実績(見込)				
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	救急救命士の全救急隊配置に向け、就業前病院実習等計画的に救命士を育成していく必要がある。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度に岐阜県から示された「救急救命士に対する再教育ガイドライン」、飛騨地域における「救急救命士再教育実施要領」に基づき、就業前病院実習を含め、計画的に再教育項目を履修し、救急救命士の質の向上を図っている。</li> <li>医薬材料費等の経費は引き続き削減に努めている。</li> </ul>
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の病院実習と薬剤認定救命士の育成事業を今後も実施する。</li> <li>救命講習会を今後も広く市民に受講できるように開催する。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	7,185	7,945	9,354	8,379
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	76	84	100	89
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B)	95,081	94,561	93,807	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の再教育(病院実習、出張研修)</li> <li>応急手当普及のための救命講習会の開催</li> <li>救急活動における救急資器材(消耗品)の購入、保守点検</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の医学的知識や技術維持のための再教育(病院実習、出張研修等)充実、計画的履修</li> <li>医療機器消耗品(除細動器バッテリー、ケーブル、バックボード資器材)の計画的更新</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿管認定救命士の養成に必要な挿管実習は飛騨医療圏では受入先病院がないため、他医療圏の要請枠で実施しなければならない。</li> <li>就業前病院実習など計画的に救命士を育成していく必要がある。</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,354	8,379	△ 975	8,119	8,119	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	9,354	8,379	△ 975	8,119	8,119		
	一般財源			0				

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81200	消防団運営費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります
	種別			款	8	消防費		分野	9					
担当課	消防本部 消防総務課		2119	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	282,000 千円			
	内線	目		2	消防団費	施策	1	消防体制の充実						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・火災を始めとする災害等から地域住民の生命・財産を守るという消防団の任務が、迅速かつ確に遂行できる体制づくりに努め、市域における災害時の被害軽減等を旨とすることにより、市民の安全安心を図る	概要	事業の実施手法(手段)	・消防団員の任免。団員報酬、出勤手当、退職報償金等の支給。消防団行事等の企画、運営。消防団施設・資機材等の維持管理、被服の貸与。消防団員への各種表彰の具申等を行う。
	対象者数	92,097 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織等検討委員会を開催し、組織、定数、災害活動団員について協議</li> <li>消防団応援事業所制度の拡大</li> <li>国体、花火大会ほか、イベント等における警備を実施</li> <li>住宅用火災警報器設置推進の広報、戸別訪問実施</li> </ul>							
	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		災害・訓練への出勤	人	目標値	20,094	22,650	26,259	28,884	
	活動指標	算出根拠等 出勤延べ人数		達成率(%)	177	169			
		訓練・研修会実施回数	回	目標値	90	90	90	90	
	活動指標	算出根拠等 実績		実績(見込)	93	94			
		警備・予防活動等	回	達成率(%)	103	104			
	成果指標	算出根拠等 実績		目標値	30	30	30	30	
		消防団員の確保	人	実績(見込)	45	53			
	成果指標	算出根拠等 年度末時点の団員数		達成率(%)	150	177			
消防団応援事業所		事業所数	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100		
補足	算出根拠等 登録事業所数		実績(見込)	1,894	1,873				
	算出根拠等		達成率(%)	90	89				
算出根拠等		目標値	40	50	75	80			
算出根拠等		実績(見込)	43	68					
算出根拠等		達成率(%)	108	136					
算出根拠等		目標値							
算出根拠等		実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)							
・警備、予防活動等、災害対応以外にも多様な活動を展開 ・消防団員の減少傾向が続く中、活性化を目的とした事業を展開し、また地域での積極的な勧誘により、災害活動団員を含め現状を維持している。									

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、団員の勤務先など市全体で消防団を応援することにより、消防団に入団しやすく、また活動しやすい社会を実現する必要がある。</li> <li>消防団の活性化事業は最重要かつ急務である。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の適切な組織規模を判断し、必要に応じ条約定数を改正する。</li> <li>組織等検討委員会を開催し、団の活性化につなげつつ、現状を見ながら、再編も実施する。</li> <li>平成24年度に実施した団員へのアンケートを含む実態・意識調査の分析を行い、団員減少の原因、確保のために必要な方策を研究する。</li> <li>消防団応援事業所を拡大する。</li> <li>消防団員雇用事業所への支援などの検討を実施する。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	組織等検討委員会、実態調査の結果を反映した団員確保、活性化の施策を実行する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	分団・班の再編を着実に推進する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 279,925	266,405	241,255	281,742
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3,000	2,869	2,620	3,059
	受益者	(B) 93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の報酬、報奨金、賞賜金の支給</li> <li>消防団員の公務災害、福祉共済などの福利厚生事業</li> <li>消防団活動の運営に必要な被服整備などの各種事業</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員が安全に活動するための福利厚生事業</li> <li>有効に活動できるための施設や装備、車両等の維持管理</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の確保や維持、施設や装備品等の充実を図り、消防団の活性化につなげる。</li> <li>消防団員を雇用する事業所を応援し、団員の確保や団活動の活性化につなげる。</li> </ul>
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	241,255	281,742	40,487	274,935	274,935	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	25,993	55,376	29,383	57,100	57,100		
一般財源	215,262	226,366	11,104	217,835	217,835		



# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81205 市消防協会補助金	会計	1 一般会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画		市長公約	6
種別		款	8 消防費	分野	9 安全	実施計画事業	消防団運営事業		
担当課	消防本部 消防総務課	項	1 消防費	基本施策	1 日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	282,000 千円		・市民の生活と生命・財産を守ります
	内線 2119	目	2 消防団費	施策	1 消防体制の充実				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 消防団員	どうしたいのか(意図)	市消防協会運営及び活動資金として補助し、消防力の維持向上を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	火災予防等の啓発、災害現場活動に対する支援、会員の弔意救済、表彰及び福利厚生、各消防協会との連携など幅広い活動を行う
	対象者数	1,873 人				

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	消防団員福祉共済の加入及び福利厚生について補助している。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	消防団員数	人	目標値	2,100	2,100	2,100	2,100
				実績(見込)	1,894	1,873	1,883	
	算出根拠等	年度末時点での団員		達成率(%)	90	89	90	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
目標値								
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	消防団員数に応じた金額を補助しているため、団員が減少している現状において補助額が目標に満たない。							

## 3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・消防団員を適正な人数まで確保するよう努め、安全な活動のため適切な金額を補助しなければならない。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・福祉共済のほか、消防団員応援事業所の拡大など福利厚生の充実を図り、積極的な団員確保に努める。 ・消防協会の活動により消防力の維持向上を図り、市民の安全を確保する。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・福祉共済掛け金の半額である1,500円に福利厚生1,300円を合算した2,800円を団員一人あたりの補助対象とする。 ・全団員(災害活動団員を除く)を対象に福祉共済に加入し福利厚生の充実を図ることにより、消防力と消防団員の安全な活動を維持する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	
	拡大	
二次評価	縮小	(担当課評価に同じ)
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,152	6,068	5,300	5,164
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,800	3,204	2,830	2,757
	受益者 消防団員	(B) 1,840	1,894	1,873	1,873

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・消防団員福祉共済の加入及び福利厚生に対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	・消防団員を適正な人数確保し、安全に活動するため、継続して消防団員福祉共済に加入
------	--------------------------	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,300	5,164	△ 136	5,200	5,200	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	5,300	5,164	△ 136	5,200	5,200		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81300	消防施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			款	8	消防費		分野	9	安全		実施計画事業			
担当課	消防本部 消防総務課		内線	項	1	消防費		基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	820,000	千円		
			2119	目	3	消防施設費		施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・老朽化した消防施設を整備し、各種災害に対する消防力の強化と充実を行い、市民の安全安心を図る。 ・現在使用する消防救急アナログ無線は平成28年5月31日に免許が失効するため、期限内に消防救急デジタル無線に移行する必要があり、信頼性の高いシステムを構築し、市民の安全を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	・団車庫を計画的に整備する。 ・平成24年度にデジタル無線電波伝搬調査を実施し、設置を要する基地局の数と位置を決定する。
	対象者数	92,097	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に基づき消防団車庫2か所の整備(改修工事)を実施</li> <li>大野分署屋根ひさし防水工事及び久々野支団反保班の大野分署への移転</li> <li>清見支団、大原班車庫改修</li> <li>上宝支団、在家・長倉・岩井戸班の車庫解体 ・デジタル無線伝搬調査を実施</li> </ul>							
	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
成果面	活動指標	消防団車庫整備	箇所	目標値	2	2	1	7
				実績(見込)	2	2	1	
	算出根拠等	実績		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築年度だけでなく、実地調査により破損、老朽化状況を加味した団車庫整備計画に見直した。今後、組織再編、車両配置の適正化、老朽化の進行など、計画実施途上において、ある程度優先順位が変動する要素がある。</li> <li>・今年度以降の工事については一律に建て替えるのではなく、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど最低コストで効果的な整備を行う。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の団車庫整備については、24年度見直した整備計画に基づき、既存の公共施設を積極的に活用するほか、建物の損傷状況に応じリフォームなど低コストで効果的な整備を行う。</li> <li>・デジタル無線伝搬調査の結果に基づき基地局の位置及び署所間の接続回線などについて、実施設計において具体化する。</li> <li>・デジタル無線実施設計を作成し、国の財政処置も考慮した上で整備スケジュールに基づき整備を進める。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両配置の見直しと併せて適切な規模の工事を行う。</li> <li>・引き続き、既存施設の活用、リフォームなど立地条件、損傷状況に応じた低コストで効果的な整備を継続する。</li> <li>・組織再編により不要となった車庫については解体または町内へ譲渡など、効率化を図る。</li> <li>・デジタル無線にかかる機器構成、運用方法などについて、実施設計に基づき基地局等の整備を実施する。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団車庫整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車両とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。</li> </ul>
	○維持・改善	
	○維持・改善	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	20,675	9,803	12,000	1,129,505
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	222	106	130	12,264
	受益者	高山市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署庁舎改修工事と、消防団車庫整備計画及び消防団再編計画により消防団車庫の整備を行い、各種災害に対する消防力の強化と均衡的な消防力の充実を図る。</li> <li>・一之宮支団一之宮班・国府支団宇津江2区班・高根支団野麦班の修繕工事</li> <li>・消防デジタル無線及び指令システム更新整備</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防デジタル無線及び指令システム整備</li> <li>・消防署改修工事</li> <li>・団車庫改修(消防団車庫の整備は建替えに限らず、実地調査に基づき適切な修繕、リフォームを行うことにより車庫の長寿命化を図る。)</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、既存施設の活用、リフォームなど立地条件、破損状況に応じた最低コストで効果的な整備を継続する</li> <li>・組織再編により不要となった車庫については解体または町内へ譲渡など、効率化を図る</li> <li>・消防団の組織再編を踏まえた団車両の適正配置と消防団車庫を整備する</li> <li>・消防本部及び消防団が連携して有効に災害対応し得る無線通信指令システムを構築する</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,000	1,129,505	1,117,505	16,000	16,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保</li> <li>・消防デジタル無線及び指令システム整備は国の補正に合わせ平成25年度補正対応とする</li> </ul>	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	335,056	335,056				
財源内訳	県支出金		0				
財源内訳	その他	750	127,069	126,319			
財源内訳	一般財源	11,250	667,380	656,130	16,000		



# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81305	消防車両整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	款			8	消防費	分野		9	安全	実施計画事業		消防車両整備事業			
担当課	消防総務課・救急課・警防課		内線	項	1	消防費		基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	118,000	千円		
			2119	目	3	消防施設費		施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか(意図)	・火災を始めとする災害対応に万全を期すために、消防車両(署・団)を常に万全の形で配備しておく必要がある。 ・老朽化した消防車両を更新し、消防活動の安全性と災害時の対応能力を向上することで、市民の安全安心を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・消防車両整備計画により、計画的に更新する。 ・地域特性を考慮し必要により配備車種(団ポンプ車、積載車、軽積載車)を変更する。 ・常備消防車両整備計画により計画的に更新する。
	対象者数	93,807	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・団の消防ポンプ自動車3台(高山支団七日町班、荘川支団牧戸班、清見支団牧ヶ洞班)を更新 ・水槽付消防ポンプ車1台を更新(国府分署)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	消防車両更新	台	目標値	3	3	2	4
				実績(見込)	3	3	2	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	高規格救急自動車	台	目標値	1	0	1	1
				実績(見込)	1	0	1	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	100		100	
	活動指標	常備消防車両更新(水槽付消防ポンプ自動車)	台	目標値	0	1	0	1
				実績(見込)	0	1	0	
	算出根拠等		実績	達成率(%)		100		
	補足			目標値				
		算出根拠等		実績	達成率(%)			

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・計画的に消防団車両の配置適正化を推進し、必要な台数の消防自動車を維持していかなければならない。 ・常備消防車両を更新する際には、国庫補助を積極的に活用する。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・団の消防ポンプ自動車2台(高山支団山王班、上宝支団本郷班)を更新する。団車両の適正配置を各支団と協議する。 ・高規格救急自動車を更新する。(清見出張所) ・資機材搬送車を更新する。 ・はしご車のオーバーホール		
次年度の実施方針	○維持・改善	拡大	・団車両適正化協議による車両入れ替えも反映し、整備計画による団消防車両の更新を継続する。 ・常備消防車両整備計画により、車両を更新し適正に維持管理する。 ・可能な国庫補助を活用するなど市財政負担の軽減を図る。
	○維持・改善	縮小	・消防車両整備については、分団・班の再編状況も踏まえつつ、消防団車庫とともに、計画的かつ効率的に進める必要がある。
	○維持・改善	拡大	
	○維持・改善	縮小	
		廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	76,067	91,455	96,500	140,562
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	800	967	1,029	1,498
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B)	95,102	94,616	93,807	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・常備消防の高規格救急車、救急車に積載する救命処置用資器材の更新 ・常備消防の水槽付消防ポンプ車の更新 ・消防団の消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ積載車の更新	要求のポイント	・消防車両整備計画に基づく車両の更新(高規格救急車、水槽付消防ポンプ自動車、消防団車両)	事業実施の課題	・充実強化を進めていくが、高額であることから整備に合わせた財源の確保 ・納車後、23~26年にわたって使用しなければならないため、長期間の使用に耐える車両を導入しなければならない。
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		96,500	140,562	44,062	122,000	122,000	・積算内容を精査 ・車両更新計画に基づき、ポンプ車のほか消防団ポンプ車等を更新	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		9,145	9,145	9,407	9,407		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	96,500	131,417	34,917	112,593	112,593		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81310	防火水槽整備事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			款	8	消防費		分野	9		安全			
担当課	防災課	内線	2117	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	15,000	千円		
				目	3	消防施設費	施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	・地震等の災害発生時における消防水利の確保と、避難所における生活雑用水の確保を目的に耐震性の貯水槽を整備し、消防体制の充実と地域の防災力強化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・耐震性貯水槽整備計画に基づき、耐震性貯水槽を整備する。
	対象者数	92,097					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・耐震性貯水槽2基(片野町・中切町)を整備したことにより、水利不足地域の整備が完了し、消防体制の充実と地域の防災力強化が図られた。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果指標	耐震性貯水槽整備	基	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	2	2	2	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
達成率(%)								
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・耐震性貯水槽の設置に合わせて、初期消火活動に活用するための小型動力ポンプを配置して、自主防災組織等に貸与し、地域の防災力強化に繋げている。							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・耐震性貯水槽の整備計画に基づき、継続的な整備を実施するために、防火水槽設置に係る用地確保が課題である。 ・用地確保が困難なものについては、簡易耐震化又は大規模な修繕など、必要とされる機能を維持できる工法等を研究・検討する必要がある。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		・老朽化した防火水槽の耐震性貯水槽への更新と、簡易耐震化又は大規模な修繕などコスト削減を意識した新たな工法による防火水槽の修繕計画を検討する。 ・消火栓、防火水槽、その他の水利を含めた、高山市消防水利設置・維持管理要綱(仮称)の策定を検討する。
次年度の実施方針	○維持・改善	・耐震性貯水槽への更新計画に基づき、老朽化した防火水槽を耐震性貯水槽に更新する。 ・大規模な修繕を必要とする防火水槽について、コスト削減を意識した工事手法の研究、検討を行い、修繕計画を策定する。  ・コスト削減を図りながら計画的に整備をすすめる必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	16,754	13,469	20,800	20,724
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	180	145	226	225
	受益者	高山市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・耐震性貯水槽整備計画に基づく既存水槽の耐震性貯水槽への更新 ・耐震性貯水槽の整備に伴う小型動力ポンプ設置 ・既存防火水槽の廃止、撤去	要求のポイント	・耐震性貯水槽整備計画に基づく耐震性貯水槽の整備と、大規模地震等の災害発生時における消防水利の確保、及び避難所等における生活雑用水を確保し、地域防災力の充実及び消防力の強化を図る。 ・耐震性貯水槽の整備に合わせ、自主防災組織に貸与する小型動力ポンプを整備し、初期消火活動の充実強化を図る。	事業実施の課題	・防火水槽について、経年劣化により老朽化が進んでおり、これらの防火水槽について、消防水利の基準(消防庁告示)と周辺の消防水利状況を考慮しながら、耐震性貯水槽への更新を進めているが、更新に係る用地の確保と消火栓やその他の防火水槽等の調和(バランス)の検討が課題である。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		20,800	20,724	△76	17,900	17,900	・積算内容を精査 ・整備計画に基づき、耐震性貯水槽を2箇所整備	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	5,236	5,236	0	5,386	5,386		
	県支出金			0				
	その他	4,000		△4,000				
	一般財源	11,564	15,488	3,924	12,514	12,514		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81315	消防水利施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	根拠計画	消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命、財産を守ります。
種別				款	8	消防費		分野	9		安全			
担当課	防災課	内線		項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	820,000	千円		
		2117		目	3	消防施設費	施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	消防水利(防火水槽・消火栓・その他水利)の適正な維持管理を行うことにより、災害時において効果的な消防活動ができる環境を維持し被害を軽減する。	概要	事業の実施手法(手段)	修繕等の措置が必要な消防水利(防火水槽・消火栓・その他水利)を順次改修する。
	対象者数	92,097	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	防火水槽の漏水、水槽本体の破損に対する修繕。水槽内に堆積した汚泥の処理。							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	消防水利施設修繕		箇所	目標値	9	5	6	12
	算出根拠等			実績(見込)	8	4	8	
成果指標	消防水槽汚泥処理		箇所	目標値	2	3	4	4
	算出根拠等		水槽内部汚泥処理	達成率(%)	89	80	133	
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
成果面				目標値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				目標値				
	算出根拠等			達成率(%)				
消防水利施設整備事業から水利施設維持管理負担金(消火栓維持管理)を水道事業会計へ支出している。								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の経年による劣化が進んでおり、修繕対象箇所が増え見込まれる修繕費用の増加が予想される</li> <li>職員による修繕対応も、対象箇所の増加により限界にきている</li> <li>排水不良消火栓の改修が必要。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火栓、防火水槽、その他の水利を含めた、高山市消防水利設置・維持管理要綱(仮称)の策定を検討する。</li> <li>消防水利の維持管理、修繕については、緊急度を適切に判断し、効率的かつ効果的に実施する。</li> <li>排水不良消火栓の改修について、関係各課と協議しながら継続的に実施する。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、コスト削減を図りながら必要な消防水利について維持管理を行い、機能を堅持する。</li> <li>排水不良消火栓の改修、移設等については、水利施設維持管理負担金の見直し及び計画的な改修について関係課と協議する。</li> </ul>
	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>コスト削減を図りながら、適正に維持管理を行う必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	11,199	10,725	10,390	11,900
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	120	115	113	129
	受益者	高山市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火水槽の修繕(躯体漏水補修、フェンス修繕、給排水口等修繕)</li> <li>消防水利の適切な維持管理(汚泥処理)</li> <li>消火栓の適正配置と維持管理</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化等による漏水修繕、フェンス修繕、防火水槽へ導水、排水などの安定した水量確保対策など、消防水利の機能を維持し安全に使用するための施設修繕等を行って、消防水利の充実強化を図る。</li> <li>消火栓の機能保全と移設等による適正配置を行い、消防水利の充実を図る。</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の老朽化が進んでおり、水利施設修繕費が増加している。</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,390	11,900	1,510	10,040	10,040	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,390	11,900	1,510	10,040	10,040		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81320	消防資器材整備事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市消防計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。
	種別			款	8	消防費		分野	9		安全			
担当課	警防課・救急課・消防総務課		内線	項	1	消防費	基本施策	1	日常生活における安全を確保する	H26実施計画額	9,400 千円			
			2119	目	3	消防施設費	施策	1	消防体制の充実					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民・白川村民	どうしたいのか(意図)	経年劣化した消防資器材、救急資器材の更新を適正に行い、迅速かつ確かな消防活動を実施し、市民生活の安全を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	上下式防火衣への更新により、隊員安全管理の徹底、二次災害の防止、効果的な消防活動の展開を図る。 ・現状空気ボンベ容器について、高圧化対応したものを整備し、空気呼吸器着装時における活動時間の延長を図る。 ・消防用ホースの更新により、消火損害の軽減と効率的な消火活動を展開を図る。 ・機能低下した自動式吸引器を更新する。 ・消防音楽隊の楽器を整備する。
	対象者数	93,807 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルB化学防護服購入。</li> <li>・上下式防火衣更新、空気ボンベ容器の高圧化(15Mpaから30Mpa)による空気ボンベ更新。</li> <li>・消防用ホース購入、二相性半自動除細動器1器を更新、自動式吸引器更新。</li> </ul>								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	上下式防火衣への更新		着	目標値	13	18	17	17
		実績(見込)				13	18	17	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	ホース更新本数		本	目標値	115	103	127	103
		実績(見込)				115	103	127	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	自動式吸引器の更新		器	目標値	1	1	1	0
		実績(見込)				1	1	1	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	整備資器材を活用した訓練等を実施し、損害額の減額や救命率向上に繋げるなど、消防活動内容の充実にも努めなければならない。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な整備により、高圧ボンベ、消防用ホース、上下式防火衣、自動式吸引器等を更新する。</li> <li>・消防団組織の活動強化のため必要な資器材を計画的に整備する。</li> </ul>	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署、消防団で計画的に整備した資器材を適正に配置し、総合的な消防力の向上を図る。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,690	7,980	10,100	12,212
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	81	84	108	130
	受益者	高山市民・白川村民(4月1日現在)	(B)	95,102	94,616	93,807

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習等で使用する応急手当訓練人形の更新</li> <li>・イベント等における貸出用AEDの更新</li> <li>・上下式防火衣、高圧空気ボンベ、消防用ホースの更新</li> <li>・消防団活動のための資器材整備</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応急手当訓練人形の更新</li> <li>・貸出用AEDの更新</li> <li>・消防隊員の安全確保のための上下式防火衣への更新</li> <li>・活動時間の延長を図るため、空気ボンベをより高圧式に更新</li> <li>・消防音楽隊楽器の購入</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動に必要な資器材を計画的に整備していく中で、劣化が予想以上に進んだことによる不具合の発生や事業内容の変化等による数量増大や機種変更などある場合に適正に対応していくために、計画部分の修正や見直しをしながら順次整備していく必要がある。</li> <li>・整備資器材を活用した訓練等を実施し、損害額の減額や救命率向上に繋げるなど、消防活動内容の充実にも努めなければならない。</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,100	12,212	2,112	10,000	10,000	・精算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	41	1,878	1,837	1,721	1,721		
	一般財源	10,059	10,334	275	8,279	8,279		

# 平成26年度 事業別予算概要

事業名	81335	自主防災組織育成事業費	予算	会計	1	一般会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地域防災計画	市長公約	6	市民の生活と生命・財産を守ります。	
	種別			8	消防費	8		防災	実施計画事業		自主防災組織育成事業				
担当課	防災課		内線	項	1	消防費	基本施策	2	災害時における市民のくらしを守る	H26実施計画額	700	千円			
				目	3	消防施設費		1	防災意識の高揚						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高山市民	どうしたいのか(意図)	組織の育成・強化を推進し、組織ごとの強化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	自主防災組織の訓練指導 初期消火資器材の更新及び修繕
	対象者数	92,097					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織への訓練指導及び訓練啓発</li> <li>初期消火資器材の維持管理方針変更</li> <li>初期消火資器材の更新及び修繕</li> </ul>						
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	初期消火資器材(ホース)更新	本	目標値	0	70	60	90	
	算出根拠等		実績(見込)	0	70	90		
			達成率(%)		100	150		
活動指標	初期消火資器材(格納箱)更新		基	目標値	0	13	20	10
		算出根拠等		実績(見込)	0	13	11	
			達成率(%)		100	55		
成果指標	訓練実施組織数		回	目標値	292	292	292	292
		算出根拠等		実績(見込)	173	223	203	
			達成率(%)	59	76	70		
活動指標	訓練指導回数		回	目標値	292	292	292	292
		算出根拠等		実績(見込)	219	242	203	
			達成率(%)	75	83	70		
補足				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足		・自主防災組織の初期消火訓練に高山市地域防災活動協力員が訓練指導している。						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練未実施組織への訓練促進</li> <li>自主防災組織の隊長固定化を促進し、リーダーを育成して継続的な地域防災力の向上を図る必要がある。</li> <li>高山市内に2,648基(H25.4.1現在)ある初期消火資器材について、適正に更新する。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>広報たかやま、ヒッツFM、防火たかやまなど様々な広報媒体を活用するほか、自主防災組織等への働きかけにより各種訓練等の実施促進を図る。</li> <li>初期消火訓練指導者(消防団、防災活動協力員等)による初期消火資器材の点検及び更新の再周知を行う。</li> </ul>
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期消火訓練の継続的な実施促進と、老朽化した初期消火資器材の適正な更新処理を継続する。</li> <li>防災エキスパート事業、災害時の要援護者支援に係る事業における関係課との協力</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期消火資器材にかかる方針に基づき、適正に更新等をすすめる必要がある。</li> <li>自主防災組織における初動体制や初期消火訓練を促進する必要がある。</li> </ul>
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	518	2,542	2,750	4,398
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	6	27	30	48
	受益者	高山市民	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織に対する訓練指導</li> <li>初期消火資器材の更新</li> <li>可搬ポンプ、井戸ポンプ修繕</li> </ul>	要求のポイント	<p>東日本大震災の教訓から、大規模災害、大規模地震に対する住民の防災意識が高まっており、自助、共助のための訓練指導や、初期消火活動が安全に実施できるための初期消火資器材更新を行って、地域防災力の向上を図る。</p>	事業実施の課題	<p>初期消火資器材の更新申請は増加傾向にあり、初期消火訓練を通じて、資器材点検、更新を実施しているが、経年劣化等で老朽化している物が多いことから、中長期的な更新に係る計画を策定する必要がある。</p> <p>可搬ポンプについて、順次各地区に整備してきたが、一般的な耐用年数15年を過ぎているため、計画的な更新が必要である。</p>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,750	4,398	1,648	2,700	2,700	・精算内容を精査し、前年並み事業費とする	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,750	4,398	1,648	2,700	2,700		